

サーモンギャラリー展

サケの生態や、旭川とサケとの関わりについてのパネル展示

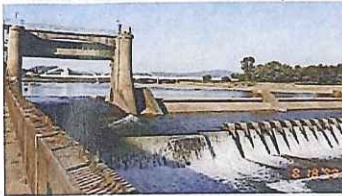
みんなでサケについて学んでみましょう!



期間
10/13⑩
↓
11/17⑩

背景【サケの絶滅】→魚道設置

高度経済成長期の水質汚濁、さらに1964年の農業用取水堰(旧花園頭首工)の建設以降、石狩川上流のサケは絶滅

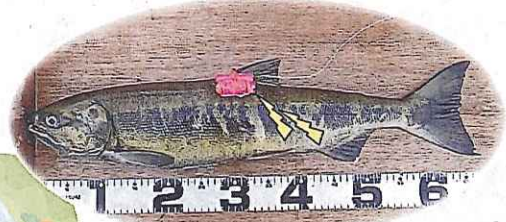


▲深川市に設置された農業用取水堰(旧花園頭首工) 河口から約120km上流

昭和39(1964)年に河口から120kmに位置する深川市の旧花園頭首工が建設されて以来、上川盆地など石狩川上流へ遡上するサケは絶滅しました。

遡上・調査

- ・遡上行動～産卵場までの日数
- ・発信器を使った調査で分かってきたこと



平成12(2000)年に旧花園頭首工に魚道が設置されると、石狩川上流へサケが遡上を開始。サケに発信器を付けた調査では遡上行動と産卵場まで達する日数が解明されました。

循環することで豊かな環境になります

サケは海と森をつなぐ使者です

野生魚誕生

放流魚から(自然産卵由来)の野生魚へ

放流魚	放流魚の回帰年						
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
大館産(1尾)	○	○	○	○	○	○	○
旭川産(1尾)	○	○	○	○	○	○	○
稚内産(1尾)	○	○	○	○	○	○	○
網走産(1尾)	○	○	○	○	○	○	○
紋別産(1尾)	○	○	○	○	○	○	○
室蘭産(1尾)	○	○	○	○	○	○	○
苫小牧産(1尾)	○	○	○	○	○	○	○
札幌産(1尾)	○	○	○	○	○	○	○

第二世代の回帰が重要

野生魚	放流魚の子供世代						
	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
大館産(1尾)	○	○	○	○	○	○	○
旭川産(1尾)	○	○	○	○	○	○	○
稚内産(1尾)	○	○	○	○	○	○	○
網走産(1尾)	○	○	○	○	○	○	○
紋別産(1尾)	○	○	○	○	○	○	○
室蘭産(1尾)	○	○	○	○	○	○	○
苫小牧産(1尾)	○	○	○	○	○	○	○
札幌産(1尾)	○	○	○	○	○	○	○

産卵場所【石狩川】



放流地点までサケは確実に回帰。湧水又は伏流水の場所がサケの産卵場となります。

- 平成21(2009)年から3年間で150万尾放流したサケの稚魚は今年に回帰のピーク(3,000尾/年)を迎えます。その放流魚の自然産卵から育った子供世代は今後、野生魚として回帰できるのがこれからの課題です。

サケ産卵場・遡上見学ツアー

10月26日(土) 9:00~12:00

サケの産卵場と遡上の様子を観察

募集人数 80名(どなたでも)

保険料 50円

予約 10/1(火)~

9時から電話受付開始 69-2004



あさひかわサケ歴史マップ 配布中!!!

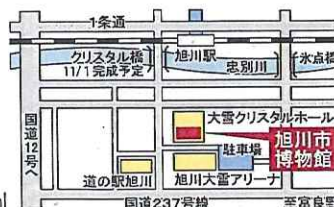
旭川市博物館

Asahikawa City Museum

旭川市神楽3条7丁目 大雪クリスタルホール内

TEL 0166-69-2004

ホームページ: <http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/files/hakubutsukagaku/museum/index.html>



観覧料
小・中学生/無料
高校生/200円
大人/300円
開館時間
9:00~17:00
休館日
10/15(火)・10/28(月)・11/11(月)



入館料・来館方法の詳細はこちら

「サーモンギャラリー展」は JST 科学技術コミュニケーション推進事業の支援を受け開催します。